

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場会社名 JFEコンテナ株式会社  
 コード番号 5907 URL <http://www.ifecon.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中島 廣久  
 (氏名) 村上 伸二

上場取引所 大  
 TEL 03-5281-8514

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,151	△18.2	1,559	△21.4	1,405	△27.0	807	△24.8
24年3月期第3四半期	23,407	2.5	1,983	△0.1	1,924	1.4	1,073	3.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 743百万円 (△24.7%) 24年3月期第3四半期 988百万円 (3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.17	—
24年3月期第3四半期	37.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,392	17,522	57.4
24年3月期	31,233	16,896	52.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,875百万円 24年3月期 16,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	26,100	△15.8	2,050	△9.6	1,900	△13.8	1,100	△6.1	38.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	28,675,000 株	24年3月期	28,675,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	29,713 株	24年3月期	29,043 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	28,645,606 株	24年3月期3Q	28,646,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①わが国経済および産業用容器業界の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や、エコカー補助金再開に伴う自動車販売の好調等、個人消費や設備投資に復調の動きが見られる一方、円高や欧州の景気後退、中国を中心とするアジア経済の減速による輸出低調等により、生産は停滞局面が続いております。また、昨年末には米国の財政の崖回避、新政権の経済政策への期待から、急速な円安への移行や株高の進展等、先行きに明るさが見えてきましたものの、依然不透明な状況が続いています。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましても、主要需要家である化学・石油業界が輸出環境の悪化等を受け、稼働率が低迷しており、設備の一部停止や統廃合を進めるなど、需要回復の兆しが見えない厳しい状況が続いております。国内の200リットル新缶ドラムの販売数量は、第3四半期に入り3ヶ月連続で前年同期を上回る水準で推移いたしました。第2四半期までの販売数量減少の影響により、当第3四半期連結累計期間では前年同期に対し3.3%減の9,899千缶となりました。

## ②当社グループの状況

このような需要環境の下、当社グループは、国内産業用容器業界のリーディングカンパニーとしてアジアでも最大級の販売規模を有し、中国にもドラム缶工場を有するわが国唯一の企業グループとして、独自の環境対応製品や耐久性の高い高品質の製品など、豊富な品揃えで営業活動を展開し、業界をリードしております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高191億51百万円（前年同期比18.2%減）、営業利益15億59百万円（前年同期比21.4%減）、経常利益14億5百万円（前年同期比27.0%減）となり、四半期純利益は8億7百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

売上高の減少は、200リットル新缶ドラムの販売数量減少に加え、第1四半期連結会計期間より、18リットル缶の製造・販売を行っておりますJFE製缶株式会社が、会社分割及び株式移転により連結子会社から持分法適用関連会社になった事が起因しております。経常利益及び当期純利益の減少は、国内ドラム缶販売数量の減少や、中国の江蘇工場の稼働に伴う固定費負担増加による営業利益の減少に加え、JFE製缶株式会社の会社分割及び株式移転に伴う影響によるものです。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、セグメントの「18リットル缶事業」はJFE製缶株式会社の持分法適用関連会社化に伴い廃止いたしました。

## 〔ドラム缶事業〕

当第3四半期連結累計期間の当社グループのドラム缶販売数量は、国内3,717千缶（前年同期比6.7%減）、中国2,201千缶（前年同期比7.2%増）、合計5,918千缶（前年同期比2.0%減）となり、売上高は189億38百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は15億79百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

国内ドラム缶事業は、前述の産業用容器業界の状況の通り、昨年度下期からの需要減退から、景気改善により若干持ち直してはきましたが、まだその水準は低く、停滞が続いております。主な需要先である化学業界におきましても、円高の影響や設備事故の復旧等も重なり生産が落ち込んだため、ドラム缶

の販売数量は減少し、その結果、前年同期に対し減収減益となりました。

一方、中国ドラム缶事業は、欧州危機に伴う輸出の不振や個人消費の伸び悩みにより需要の伸びは鈍化傾向にありますが、江蘇工場の本格稼働により販売数量は前年同期に対し増加いたしました。業績につきましては、同業他社との競争激化や江蘇工場の稼働に伴う固定費負担増加もあり、前年同期に対し減収減益となりました。

なお、足元の状況といたしましては、浙江工場は2012年10月に稼働後4年4ヶ月で累積損失を解消いたしました。第2ラインの建設も2013年10月の稼働に向け、工事は順調に進んでおります。

また、中国第4番目の拠点として、重慶市にドラム缶の製造販売を目的とした新会社を設立することを、2012年12月の取締役会にて決議いたしました。生産開始は2014年10月を予定しており、重慶工場の設立により当社グループの中国におけるドラム缶生産能力は年間で約1,000万缶となり、日本国内での生産能力と合わせて年間約1,500万缶の生産体制が整備されます。

#### 〔高圧ガス容器事業〕

高圧ガス容器事業は、主力である天然ガス自動車用燃料容器の販売が低迷しており、厳しい収益状況が続いております。当第3四半期連結累計期間の売上高は医療用酸素容器向けの販売数量増加や受託開発案件の拡大により2億12百万円（前年同期比119.5%増）、経常損益は71百万円の損失（前年同期は129百万円の損失）となりました。天然ガス自動車用燃料容器に関しましては、海外での天然ガス自動車普及に伴う需要増加に対応すべく活動中であり、また国内では、医療用酸素容器の拡販に加え、バイオガス関連事業など国内における新しいビジネスチャンスを的確に捉え、早期の黒字化を目指してまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比18億41百万円減少の293億92百万円となりました。資産の部では、受取手形及び売掛金の増加などにより、流動資産が5億2百万円増加いたしました。旧伊丹工場土地の一部売却に伴い固定資産が23億43百万円減少いたしました。

一方負債の部は、前連結会計年度末比24億67百万円減少の118億69百万円となりました。主な要因は、連結子会社でありましたJFE製缶株式会社が会社分割及び株式移転により第1四半期連結会計期間から持分法適用関連会社となったことに伴う支払手形及び買掛金の減少などで、流動負債が23億81百万円減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末比6億26百万円増加の175億22百万円となりました。主な要因は、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年10月29日公表のとおりであり、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,743,317	1,682,979
受取手形及び売掛金	8,369,258	9,983,233
商品及び製品	245,804	202,247
仕掛品	218,731	117,022
原材料及び貯蔵品	2,378,254	2,166,660
繰延税金資産	176,603	176,615
その他	1,273,911	579,069
貸倒引当金	△1,169	△1,021
流動資産合計	14,404,711	14,906,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563,501	1,642,712
機械装置及び運搬具(純額)	4,068,358	3,494,540
土地	9,293,284	6,531,109
建設仮勘定	23,182	329,449
その他(純額)	203,413	199,628
有形固定資産合計	15,151,741	12,197,440
無形固定資産		
その他	303,308	249,860
無形固定資産合計	303,308	249,860
投資その他の資産		
投資有価証券	730,753	1,397,638
繰延税金資産	370,676	370,651
その他	282,443	275,104
貸倒引当金	△9,685	△4,830
投資その他の資産合計	1,374,187	2,038,565
固定資産合計	16,829,237	14,485,866
資産合計	31,233,949	29,392,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,944,194	5,119,951
短期借入金	3,674,217	2,737,834
未払法人税等	296,423	165,789
未払消費税等	85,592	63,248
役員賞与引当金	27,405	33,997
災害損失引当金	37,302	—
資産除去債務	—	160,890
その他	1,650,908	1,053,126
流動負債合計	11,716,043	9,334,839
固定負債		
長期借入金	960,269	1,146,028
退職給付引当金	1,365,481	1,264,644
役員退職慰労引当金	91,740	87,240
PCB処理引当金	37,059	37,059
資産除去債務	165,066	—
その他	1,436	—
固定負債合計	2,621,052	2,534,971
負債合計	14,337,095	11,869,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	9,785,200	10,305,920
自己株式	△6,093	△6,311
株主資本合計	16,793,981	17,314,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,937	20,911
為替換算調整勘定	△417,321	△459,635
その他の包括利益累計額合計	△400,383	△438,723
少数株主持分	503,255	647,104
純資産合計	16,896,853	17,522,864
負債純資産合計	31,233,949	29,392,675



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	23,407,074	19,151,195
売上原価	18,257,822	14,713,061
売上総利益	5,149,252	4,438,134
販売費及び一般管理費	3,166,017	2,878,961
営業利益	1,983,234	1,559,172
営業外収益		
受取利息	4,565	4,915
受取配当金	6,943	6,968
受取賃貸料	15,399	65,610
持分法による投資利益	19,582	—
その他	44,568	47,007
営業外収益合計	91,059	124,502
営業外費用		
支払利息	63,241	67,178
為替差損	10,218	—
持分法による投資損失	—	109,039
その他	76,145	102,340
営業外費用合計	149,604	278,558
経常利益	1,924,689	1,405,117
特別利益		
固定資産売却益	161,384	—
企業発展奨励金	—	30,578
特別利益合計	161,384	30,578
特別損失		
公共施設負担金	124,599	—
災害による損失	25,380	—
減損損失	95,760	—
投資有価証券評価損	—	22,627
本社移転費用	—	20,453
特別損失合計	245,740	43,080
税金等調整前四半期純利益	1,840,333	1,392,615
法人税等	740,335	600,118
少数株主損益調整前四半期純利益	1,099,998	792,497
少数株主利益又は少数株主損失(△)	26,294	△14,679
四半期純利益	1,073,704	807,176

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,099,998	792,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,286	4,097
為替換算調整勘定	△47,331	△52,848
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,300	△123
その他の包括利益合計	△111,918	△48,874
四半期包括利益	988,079	743,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	971,204	768,835
少数株主に係る四半期包括利益	16,875	△25,213

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。